



相場シナリオ要約（2026年8月版）

2027年末までの基準線を1枚に 株ちゃん投資情報

これは「予想」ではなく「基準線」です

相場を当てにいく資料ではありません。あらかじめ想定を1本置いておき、毎月末に現実と答え合わせをして、ズレたら基準線を引き直す。そのための出発点として使ってください。

一番危険なのは「下がってから慌てて考えること」。先に想定を持っておけば、急落の日に「これは想定範囲か、想定外か」という問いから始められます。

いまの基本認識（2026年8月時点）

項目	想定
現在の局面	拡大局面の終盤。過剰投資と市場不安が同時進行する時間帯
メインシナリオ	AI需要 → メモリ逼迫 → 工場建設ラッシュ → 需給転換 → 稼働減 + 高金利 → 半導体主導の調整
転換点の集中ゾーン	2026年後半～2027年（大統領サイクルの底・シリコンサイクルのピーク・在庫循環のピークが重なる）
1サイクルの想定	拡大 → 収縮 → 停滞 → 回復 で約17か月

4つのシナリオと想定確率

シナリオ	確率	中身
メイン：半導体サイクル調整	45%	供給が需要を追い越して需給転換。高金利と重なり2027年中盤から本格調整、年末にかけて回復初動
楽観：産業革命継続	25%	AIは過去のバブルと異なり、供給増を推論需要が吸収。半導体・電力は上昇継続
軟着陸：セクター交代	20%	半導体は調整するが、資金が別セクターへ移り相場全体は崩れない
弱気前倒し	10%	2026年中に崩壊が始まる

※確率は「どれが起きても対応できる準備をするため」の重みづけです。当てるための数字ではありません。

月次の基準線（2026年8月～2027年12月）

時期	局面	想定される中身
26/8	拡大	過剰投資と市場不安の同時進行・夏枯れ
26/9	収縮	米利上げ第1弾リスク・統計的最弱月
26/10	収縮	中間選挙前の底値形成ゾーン（アノマリーの要）
26/11	回復	中間選挙通過→上昇転換点の本明月
26/12	回復	日米W金利イベント・掉尾の一振か引き締め年末か
27/1	停滞	大統領サイクル3年目入り・ただし高金利の壁
27/2	停滞	節分天井の警戒ゾーン・決算総仕上げ
27/3	停滞	彼岸底・メモリ需給転換の最初の関門
27/4	拡大	新年度ラリーと「最後の業績相場」
27/5	収縮	Sell in May・メモリ価格ピークアウト観測
27/6	収縮	需給転換の織り込み開始・逆業績相場の入口
27/7	収縮	半導体調整本格化・資金の蛇口が閉まる
27/8	収縮	調整の深押しゾーン・恐怖の時間帯
27/9	停滞	最弱月×底値模索・ツルハシの真価判定
27/10	回復	10月底アノマリー×利下げ転換＝底値買いゾーン候補
27/11	回復	回復初動・金融相場の入口
27/12	回復	年末ラリー・1サイクル完了と次の作戦計画

毎月やること（これだけでいい）

順番	やること
1	月末に、その月が「拡大・収縮・停滞・回復」のどれだったかを自分で判定する
2	基準線と一致していたか、ズレていたかを記録する
3	ズレていた場合、どちら側（楽観側・弱気側）にズレたかをメモする
4	総資産を記録する（特典の複利シミュレーターに入力すると推移が見えます）

ズレは失敗ではありません。どちら側にズレたかこそ、次の想定を作るための最大の情報です。当たったかどうかより、記録が残っているかどうか効いてきます。

この資料は毎月更新します

相場は動きます。この基準線も、実績に合わせて毎月引き直します。更新版はメールでお届けしますので、届いたら差し替えてお使いください。

月ごとの詳細（分岐条件・注目セクター・チェック項目）まで管理できる相場シナリオ管理アプリ「株式相場会議室」は、Udemy講座「【ゼロから始めるAI投資】」の受講特典としてお配りしています。

※本資料の想定は2026年8月時点の報道・公開情報にもとづく概算であり、指数の実値ではありません。数値・事実は必ずご自身で一次情報をご確認ください。

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資助言・特定銘柄の売買推奨ではありません。投資判断はご自身の責任で行ってください。生成AIの出力には誤りが含まれることがあります。数値・事実は必ず一次情報（決算資料・証券会社の画面等）でご確認ください。
発行：株ちゃん投資情報（kabuchan-investor.com） 本資料の再配布・販売はご遠慮ください。